

< もくじ >	
1. 2025年度連続講座開催のお知らせ	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3
4. 事務局からのお知らせとお願い	5

1. 2025年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part4」開催のお知らせ

人生100年時代が現実のものとなったとはいえ、いつまでも元気で活動し続けることは困難です。歳を重ねれば心身機能が低下し、人生の最終段階には他者の助けが必要になり、その後に訪れる死への準備も欠かせません。親、きょうだい、配偶者、そしてあなた自身の人生の最終段階を悔いのないものにするうえで、この講座がお役に立てることを願っております。

《講演内容・日程（開催時間は、全て14:00～16:00）》

◆第1回 9月27日（土） 袖井 孝子（シニア社会学会会長 東京家政学院大学特別招聘教授）
テーマ：「終活のすすめ～悔いのない人生の締めくくりに～」

◆第2回 10月18日（土） 谷口 佳充（三井住友信託銀行 人生100年応援部特別理事
法制審議会民法（遺言関係）部会委員）
テーマ：「超高齢社会のおカネと相続/死後事務～Advance Life Planning のススメ～」

◆第3回 11月8日（土） 中村 昌子（シニア社会学会理事 グリーフカウンセラー
上智大学グリーフケア研究所認定臨床聴士）
テーマ：「グリーフケアとグリーフワークの基礎知識」

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

□主 催：一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□会 場：東京家政学院大学三番町キャンパス1602教室、Zoom 併用によるハイブリッド開催

□参加費：会員・非会員：各回1,000円（学生：無料）

□申込方法：

①Peatix で申し込まれる場合（会場参加・オンライン参加）

<https://renzokukouza.peatix.com/>

②E メールで申し込まれる場合

シニア社会学会Eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）へ以下の事項を記載し、お申込み下さい。

- ・お名前 ・参加区分（会員／非会員／学生【大学名と学部を明記】）
- ・参加講座（第一回／第二回／第三回）
- ・参加方法（会場参加／オンライン）オンライン参加の方は事前に参加費をお振込みください。

※ 詳細については同報のチラシをご覧ください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第171回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年7月23日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：会田薫子(東京大学大学院人文社会系研究科 特任教授)
- 3) テーマ：「日本型 ACP の考え方と実践」
- 4) オンラインで開催いたします。
- ※ 参加を希望される方は、阿部(fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp)にご連絡ください。
資料をお送りいたします。
- ※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(2) 第108回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のご案内

- 1) 日 時：2025年7月24日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：「コミュニティ発達の鍵となる社会関係資本の蓄積と活性化について
～発達の2つの原則「個人化」「社会化」の促進・阻害要因である組織論、フリー
ライダー論等を切り口に検討する
- 4) 発表者：参加者は、各人が A4 用紙 1 枚程度にまとめ、当日発表
- 5) 参加費：300円
- ※ お問い合わせ等は、島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)までお願い致します。

(3) 第58回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年7月26日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ：人形劇その他
劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」
認知症を可視化し、わかりやすくします。人形劇、寸劇など劇団員募集しています。
- ※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme_masumi@yahoo.co.jp)までお願い致します。

(4) 第64回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年7月30日(水) 17:30~19:30 Zoom 開催
- 2) テーマ：あなたの「死生観(感)」についてシェアしてみませんか。中村昌子
あなたの半生、生身の生き方を積み重ね、また、身近な存在の死に遭遇してこれ、「死ぬこ
と」ってどんな感じでしょうか。あなた自身の「死生観(感)」を言葉に表すとどんな感じで
すか。その他、「死に纏わる社会的な諸問題」にも目を向けて話し合ってみたいと考えておりま
す。
- ※ ご連絡ご質問は、中村昌子(nakamurayoshiko6@gmail.com)までお願いします。

(5) 第60回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年8月27日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員で検討
- 4) 概 要：「高齢者に対する、SNS やメールを通じた詐欺やその他、気になる事例を調査」
- ※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第76回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年6月11日（水） 18：00～20：00
- 2) 報告者：カルメン・グラウ（地域社会と危機管理研究所）
- 3) タイトル：「バレンシアにおける水害管理：【第1回調査】被害コミュニティとジェンダーの視点から」
- 4) 場 所：早稲田大学26号館1102会議室 対面とハイフレックス開催
スペイン出身のカルメンさんが出身地のバレンシアを襲った水害について、被害コミュニティとジェンダー視点からの第1回調査についての報告である。調査方法は水害で被災した13の市町村においてフィールドワークを実施し、被災地（①バレンシア市周辺②バレンシア南部③バレンシア内陸部）について被災者の現状をインタビューにより確認した。ジェンダー視点の研究については、バレンシア大学教授が率いるジェンダーに視点をあてた研究（①保健所や教育機関のニーズ②女性の活躍③移動手段④女性の居場所⑤ジェンダーに基づく暴力）および横断的分野（①都市計画②人材③高齢者④女性の決定権⑤ガバナンス）の研究に参加した。被災地の現状では水害発生時の政府の対応の不備に対して裁判が進行中であること、被災地において積極的に緊急・復興関連市民団体が設立されていること、復興への地域住民の参加、復興の課題などが挙げられる。カルメンさんの日本を代表しての活動として早稲田大学の研究員として3つの被災市町村でパネリストとして講演している。今後の予定としては①2025年7月にドイツのセミナーでスペインの防災教育について講演②9月カーディフ大学で英国日本研究協会主催の研究会で、日本の災害対応の知見のバレンシアでの適用について講演③夏にバレンシア被災地を再訪問などがある。

（松村 治 記）

(2) 第107回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日時：2025年6月23日（月）15：00～18：00
- 2) 会場：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：「コミュニティとアソシエーション～主体的な『努め』（地域貢献）による『居場所』（地域的なつながり）づくり」 発表者 森嶋由紀子さん、発表後参加者間で討議。
- 4) 発表の目的と内容：
前回の大下会員による発表・提案（「村落共同体の知恵を都市コミュニティにどう活かすか」について議論を更に深めるべく、①マッキーバーの「コミュニティ」「アソシエーション」、②テンニースの「ゲマインシャフト」「ゲゼルシャフト」社会学的な概念規定をまとめ、③『コミュニティ』の重要原則である「社会の発達」と「個人（成員のパーソナリティ）の発達」（パーソナリティの個性化）が進み自立的存在になり、人間関係が増大・発達することで社会関係がより複雑かつ広範囲になる」という新たな論点を提示。更にコミュニティ発達を考察する手がかりとして④オルソンのフリーライダー問題（市民社会に於ける協力行動）、⑤バーナードの組織論（組織の3要素、組織の機能要件）について言及。⑥日本の都市コミュニティのこれからの発達はどうなるのか（コミュニティの活性化には社会関係資本を活性化、自由な個人と都市コミュニティのWin-winの関係の構築を中心に）。

5) 討議の概要：

これまでの研究会で濱口座長から教示された「コミュニティとアソシエーション」の概念について、今回の詳細な発表で各々の頭の中が整理されテーマへの理解が進んだ。更に、提示された新たな2つの論点と考察の手がかりを基に、前回の大下さん発表について、多様で活発な議論が交わされた。日本型コミュニティの異質性、社会関係資本形成、コミュニティ形成促進要因、阻害要因等々。なお、濱口座長のコメントは次回に詳細を報告予定。

（安田和絃 記）

(3) 第63回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日時：2025年6月24日(火) 17:30~19:30 Zoom 開催
- 2) テーマ：「シニア世代と生成 AI」渡邊哲哉

シニア世代が生成 AI を活用する意義についての考察を報告した。少子高齢化が進行する日本社会において、生成 AI は今後ますます他人事では済まされない存在となりつつある。一方、生成 AI は機能や使いやすさが日々進化しており、シニア世代の豊富な人生経験や知見を生かせる道具としての可能性が広がっている。今回の報告では、生成 AI の基本的な仕組みや具体的なツールの活用事例について、実演を交えて紹介した。また、生成 AI が知識格差の縮小やデジタル弱者の支援にもつながる点についても言及した。操作に不慣れでも、問いかけるだけで必要な情報や助言が得られる仕組みは、情報アクセスの平等化という観点からも大きな意義がある。さらに、生成 AI との対話を通じて自らの考えを整理し、新たな視点を得ることは、知的活動の再起動を促す契機となり得ると述べた。

参加者からは多様な声が寄せられた。生成 AI を用いて俳句や動画を制作するなど、楽しみながら創作に活用する事例を通じて、生成 AI を肯定的に評価する意見があった。一方で、思考過程が省略されることや、現実の人間関係を回避し生成 AI に依存しがちになる心理的傾向についての懸念が指摘された。また、AI による情報収集や要約の能力に関しては、プライバシーや情報の制御可能性に対する不安の声があがったほか、相手に寄り添い言葉を選ぶという人間ならではの配慮が簡易に模倣されることへの違和感が表明された。これらの指摘は、人間にとって不可欠な試行錯誤や不確かさの価値を見直す必要を示唆している。

本報告を通じて、生成 AI のような新技術と適切な距離感を保ちつつ、単なる人間の代替手段ではなく、暮らしに彩りを添える相棒として位置づける可能性が共有されたことは、意義深い成果であったと考える。

(渡邊哲哉 記)

(4) 第59回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年6月25日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員で検討
- 4) テーマ：「ChatGPT のプロンプトを基に高齢者の情報リテラシー」の枠組み検討
- 5) 概 要：事前配布の ChatGPT のプロンプト資料を基に議論

【議論の要点】

- ・AI (ChatGPT) は概念をつかむのにはよい。
- ・高齢者に対する、SNS やメールを通じた詐欺やその他、気になる事例を調べてみる。事例を発信することで注意喚起になるのではないかな。

【意見交換と以降の検討事項】

- ・AI を利用した下調べは、概念をつかむのにはいいが、出典が明記されていないことが残念。
- ・我々は、リテラシーの専門家ではない。高齢者が SNS やメールを通じた詐欺にあっている実際の事例を集めて発信してはどうだろうか。
- ・知識の足りない部分をカバーしてくれる人が欲しい。そのような仕組みを作ればいい。

(森やす子 記)

(5) 第57回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2025年6月28日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員 (YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：人形劇、その他

(鈴木眞澄 記)

4. 事務局からのお知らせとお願い

< 会員情報変更時のご連絡のお願い >

事務所移転後は、各種ご連絡を e メールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、e メール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

< 2025 年 8 月 JAAS News の発行日 >

次回 JAAS News 第 312 号の発行日は、2025 年 8 月 20 日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、8 月 15 日（金）までに、学会宛の e メール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
e メール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>